

「市政改革プラン2.0」に基づく取組等

取組項目1 【住宅使用料の未収金対策】

計画	取組の方針・目標内容 (趣旨・目的) ・これまでの滞納抑制、徴収強化の取組により収納率は向上している。今後も「新たな未収金を極力発生させない」「既存未収金の解消」を2本柱として収納率の維持、向上を図る。 (取組の概要) ・短期滞納時点での督促を強化、支払い意思のない者に対しては、法的措置を速やかに行う。大部分が退去者の滞納となっている過年度未収金は、弁護士法人等に納付勧奨及び催告等の事務委託を行う。 ・差押等の法的措置を実施するなど多面的な督促手法により収納率の向上をめざす。 (目標) ・平成30年度 目標収納率: 現年度99.60%以上		当年度の取組内容 (取組の内容) ・初期の段階で滞納の解消を図ることが効果的であることから、市営住宅使用承認取消基準は公営住宅法で3か月以上として定められている最短の3か月として引き続き法的措置を行う。 ・初期段階での督促強化のため3か月未満の滞納者に対しては、本人への電話督促を行うとともに、滞納月数が2か月を超えた段階で、滞納者の保証人への支払・説得依頼を送付し、支払を促すなどの取組を進める。 ・過年度未収金の多くが退去滞納であることから、効率的な滞納整理を進めるため、弁護士法人等へ納付勧奨及び催告等の事務を委託し、併せて債権差押、支払督促などの法的措置も実施していく。 (目標) 平成30年度 目標収納率: 現年度99.60%以上
----	---	--	--

中間振り返り	取組内容の実施見込み	(i) (i)実施見込み (ii)実施できない見込み	課題と改善策 ※左記が「②」の場合は必須
	目標の達成見込み	①: 達成見込み ②: 達成できない見込み	

自己評価	当年度の取組実績及び目標の達成状況 市営住宅使用承認取消基準を滞納3か月以上として法的措置を迅速・的確に行うとともに、3か月未満の滞納者への督促強化を継続して行うなど、初期段階での効果的な滞納解消の取り組みを中心に進め、目標収納率である現年度99.60%を達成する見込みである。 ①		課題と改善策 ※左記が「②」の場合は必須
	①: 目標達成 ②: 目標未達成		-

取組項目2 【市営住宅管理における指定管理者制度の導入】

計画	取組の方針・目標内容 (趣旨・目的) ・市営住宅の管理にかかる事業者選定において、競争性を確保する。 (取組の概要) ・公社への管理代行制度に基づく随意契約をやめ、指定管理者制度を導入する。 (目標) ・早期の制度導入をめざす。		当年度の取組内容 (取組の内容) ・市会での議論内容をふまえ、指定管理者制度の導入方法の検討を進める。 (目標) ・市営住宅管理における指定管理者制度の導入案を策定するとともに、指定管理者の募集要項・仕様書等を作成する。
----	--	--	--

中間振り返り	取組内容の実施見込み	(i) (i)実施見込み (ii)実施できない見込み	課題と改善策 ※左記が「②」の場合は必須
	目標の達成見込み	①: 達成見込み ②: 達成できない見込み	

自己評価	当年度の取組実績及び目標の達成状況 早期の制度導入をめざし、募集方法や導入後の業務手法を検討し、募集要項・仕様書案を作成するとともに、募集計画の策定を行った。 ①		課題と改善策 ※左記が「②」の場合は必須
	①: 目標達成 ②: 目標未達成		-

取組項目3

【公共施行の土地区画整理事業等の効率的実施】

計画	取組の方針・目標内容		当年度の取組内容
	<p>(趣旨・目的) ・厳しい財政状況のもと、新規の事業化を原則として当面凍結し、継続中の公共団体施行の事業等については、着実に実施する。</p> <p>(取組の概要) ・継続中の公共団体施行の事業等について、厳格に進捗管理を行うとともに、法的措置の活用や事業内容の公表など、対策を講じながら着実な進捗を図る。</p> <p>(目標) ・三国東地区：中断移転を含む様々な移転促進策を活用することにより、早期の道路用地確保など円滑に事業を推進する。 ・淡路駅周辺地区：おおさか東線の新駅の開業に併せ、地区東エリアの都市計画道路淡路駅前線の整備を平成30年度に完了する。</p>		<p>(取組内容) ・継続中の公共団体施行の事業についての目標、スケジュールを組織内で共有化し、厳格に進捗管理を行うことにより、建物移転、道路整備等を推進する。 ・事業報告書を作成し、ホームページで公表する。</p> <p>(目標) ・三国東地区：建物移転、道路整備等を推進 （区画道路の舗装整備：110m） ・淡路駅周辺地区：道路整備等を推進 （都市計画道路 淡路駅前線東側の整備完了：400m、区画道路の本整備）</p>

中間振り返り	取組内容の実施見込み	(i) (i)実施見込み (ii)実施できない見込み	課題と改善策 ※左記が「②」の場合は必須
	目標の達成見込み	① ①:達成見込み ②:達成できない見込み	-

自己評価	当年度の取組実績及び目標の達成状況		課題と改善策 ※左記が「②」の場合は必須
	<p>(取組実績) 2地区では、長期目標の達成を見据えた年度目標を設定し、建物移転、道路整備等を推進した。 また、それら達成目標及びスケジュールを組織内で共有化し、厳密に進行管理を行った。</p> <p>(目標の達成状況) ・三国東地区：区画道路の舗装整備(110m) ・淡路駅周辺地区：都市計画道路淡路駅前線の本整備(400m) 区画道路の本整備(86m)</p> <p>①:目標達成 ②:目標未達成</p>		① -

取組項目4

【効率的な行財政運営】

計画	取組の方針・目標内容		当年度の取組内容
	<p>(趣旨・目的) 適切な組織管理や人事管理を着実に推進し、スリムで効率的な業務執行体制を確立し、局の生産性の向上を図る。</p> <p>(取組の概要) 人員マネジメントを適切に行いながら、スリムで効率的な業務執行体制を構築する。</p> <p>(目標) 質の高い効率的な行財政運営を推進するため、引き続き職員数の削減に向けて取り組む。</p>		<p>(取組の内容) ・市政改革プラン2.0に基づき、事務事業に見合った適正な要員及び組織管理を着実に推進する。 ・さらなる計画的な超過勤務命令の実施及び「ノー残業デー」の徹底により、超過勤務手当を削減する。</p> <p>(目標) 全市方針に基づくポスト数の見直し及び人員削減率の遵守</p>

中間振り返り	取組内容の実施見込み	(i) (i)実施見込み (ii)実施できない見込み	課題と改善策 ※左記が「②」の場合は必須
	目標の達成見込み	① ①:達成見込み ②:達成できない見込み	-

自己評価	当年度の取組実績及び目標の達成状況		課題と改善策 ※左記が「②」の場合は必須
	<p>・職員数の削減について、事務事業の見直し等により、本市方針に基づくポスト数の見直し1.5%(△4ポスト)及び人員削減率2.0%(△11名)を遵守した人員マネジメントを行うことができた。 ・超過勤務手当について、計画的な超過勤務命令の実施及び「ノー残業デー」の徹底等により着実に削減に取り組んだものの、大阪府北部を震源とする地震の発生や台風21号の襲来等による災害対応業務が大量に生じたことから、昨年度に比し増加する結果となっている。</p> <p>①</p> <p>①:目標達成 ②:目標未達成</p>		-